

令和8年度 地域共創インフラツアー 対象テーマと予約枠

ツアーテーマ		時期
南富良野・ 富良野編	北海道中心部の豊かな実りを支える金山ダムと農業の歴史を知る	9月上旬
士別編	天塩川に支えられた産業ロマン ～夏（秋）の士別インフラツアー～	8月～10月
帯広編	十勝の大地をたどる旅 ～人・馬・水が見つないだ開拓の物語～	7月下旬～10月

テーマの詳細、メニューリストは次ページ以降をご覧ください。

地域共創インフラツアー（南富良野・富良野編）

北海道中心部の豊かな実りを支える金山ダムと農業の歴史を知る

予約枠 9月上旬・1回

担当 札幌開発建設部・旭川開発建設部

※本ツアーは、企画案を地域と共に創りあげたうえで、催行いただくものとなります。（以下「メニューリスト」のインフラ施設を必ず行程へ組み込み込み願います。その他、以下に記載の連携できそうなメニューをはじめ、グルメや観光スポット等は、各ストーリーに基づき、自由に組み入れていただけます。）

※予約枠の確定後速やかに、開発建設部の担当者と企画のための調整をお願いします。

※その他応募の諸条件は、催行応募要領をご覧ください。

👉 本ツアーのストーリー

北海道中心部である富良野地域の農業は、どのように発展したのか？その秘密を“水”からひもときます！

観光地として名高い富良野地域の農村風景は、自然に出来上がったものではなく、入植以来、農業者が営々と築き上げてきた「**農業のまちづくり**」によるものです。

本ツアーでは農業に欠かせない「水」をめぐり、富良野の大地で積み重ねられてきた努力の軌跡をたどる旅として、まずは明治開拓期、農地へ水を送り込むために築かれた「山手（やまて）幹線用水路」における水利の原点を富良野市博物館にて探ります。

次に、作物に適した水づくりの工夫を支える「勇振川（ゆうふれがわ）温水ため池」では、空知川上流土地改良区職員による解説で、その仕組みに迫ります。

さらに昭和42年に完成した「金山ダム」を見学し、治水と農業の関係を深掘り。そしてJA施設では、インフラが整備されたことにより、豊かに実った農産物（玉ねぎ、じゃがいも）が、どのように選別・加工されているかについてJA職員から学びます。

メニューリスト

◆インフラ施設一覧

① 金山ダム（ダム監査廊、取水塔）

◇連携できそうなメニュー一覧

買い物・食事 ➡ 道の駅南ふらの、フラノマルシェ

見学 ➡ 富良野市博物館、ゆうふれがわ勇振川温水ため池、
おうぎやまJAふらのシレラ富良野工場、JAふらの扇山玉葱選果場

○見学可能な施設

JAふらの扇山玉葱選果場

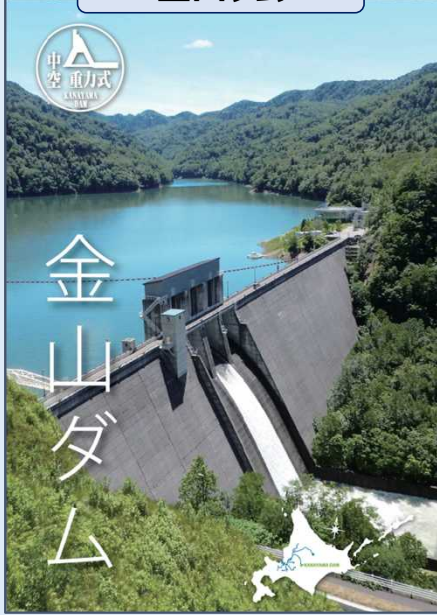


JAふらの提供



JAふらの扇山玉葱選果場

金山ダム



富良野市

勇振川温水ため池

JAふらのシレラ富良野

南富良野町

出典 国土地理院

勇振川温水ため池



富良野市博物館提供

JAふらのシレラ富良野



JAふらの提供

地域共創インフラツアー（土別編）

天塩川に支えられた産業ロマン ～夏（秋）の土別インフラツアー～



予約枠 8月～10月・1,2回

担当 旭川開発建設部

※本ツアーは、企画案を地域と共に創りあげたうえで、催行いただくものとなります。（以下「メニューリスト」のインフラ施設を必ず行程へ組み込み込み願います。その他、以下に記載の連携できそうなメニューをはじめ、グルメや観光スポット等は、各ストーリーに基づき、自由に組み入れていただけます。）

※予約枠の確定後速やかに、開発建設部の担当者と企画のための調整をお願いします。

※その他応募の諸条件は、催行応募要領をご覧ください。

👉 本ツアーのストーリー

本ツアーは、土別の自然・産業・歴史を多角的に体験できるインフラツアーです。

『岩尾内ダム』では、旭川開発建設部職員の案内により普段は立ち入れない内部を見学し、地域を支える治水・利水の仕組みを理解します。また、ダム建設により湖底に沈んだ「似峡（にさま）」集落について、土別市立博物館の学芸員が当時の生活や木材産業の歴史を紹介し、“失われた町の記憶”として地域に刻まれた物語を知ることができます。

上土別地区の『北海道最大級の田んぼ』では、国営事業で再編された広大な農地を前に、ICT農業機械の導入や6次産業化など、天塩川水系の恵みを活かして発展する先進的な農業の姿を学ぶことができます。

『日本甜菜製糖株式会社土別製糖所』では、昭和11年創業の歴史ある工場で、甜菜が天塩川の水で洗浄され砂糖へと加工される一連の工程を見学できます。「川→農業→製糖→地域経済」へとつながる土別の産業連鎖を象徴する光景です。

国登録有形文化財の『大野家住宅主屋』では、1927年（昭和2年）建築の和洋折衷の空間を特別公開。創業者・大野直吉氏が天塩川の河川砂利を馬車で運び、鉄道敷設工事に携わった歴史が息づく場所として、“地域をつくった人の物語”に触れることができます。

『土別駅前倉庫群』は、明治～昭和初期に建てられた煉瓦・石造倉庫が観光整備されることなく現役で使われる“生きた産業遺産”です。ここでは土別市立博物館の学芸員が、天塩川流域の木材・農産物・澱粉が集積し、鉄道と連携して土別の産業を支えてきた歴史を解説します。

倉庫群の一つを再生した『土別サムライブルワリー』では、天塩川源流水や地元産原料を使ったクラフトビール醸造を見学し、試飲体験を通じて、歴史的建物が現代産業へと継承される姿を体感できます。

土別の“水・産業・歴史・人”が一つの流れとして立ち現れる本ツアーは、地域の歩みを深く理解し、多様な魅力に触れる貴重な機会となります。

◆インフラ施設一覧

①岩尾内ダム

◆ツアーに活用可能な施設一覧

②北海道最大級の田んぼ（上士別地区）

③日本甜菜製糖株式会社士別製糖所

④大野家住宅主屋（旧大野組事務所兼主屋）

⑤士別駅前倉庫群

⑥士別サムライブルワリー

◆連携できそうなメニュー一覧

◇施設

- ・士別市立博物館
- ・道の駅「羊のまち 侍（さむらい）・しべつ」
- ・朝日地域の文化資源（佐藤医院／知恵の蔵）の見学

◇食事

- ・ペコラキッチン
- ・士別独自の焼き鳥文化

◇その他

- ・岩尾内ダム湖上のミニクルーズ
- ・士別サムライブルワリーでの醸造体験など
- ・地元野球チーム「KAMIKAWA・士別サムライブレイズ」の試合観戦
- ・朝日三望台シャンツェの見学
- ・「モノコックバス」などの士別軌道が保有するレトロバス見学
- ・日本甜菜製糖工場見学でのビートオリゴ入り「天サイダー」試飲

○見学可能な施設

日本甜菜製糖（株）
士別製糖所

出典：士別市HP

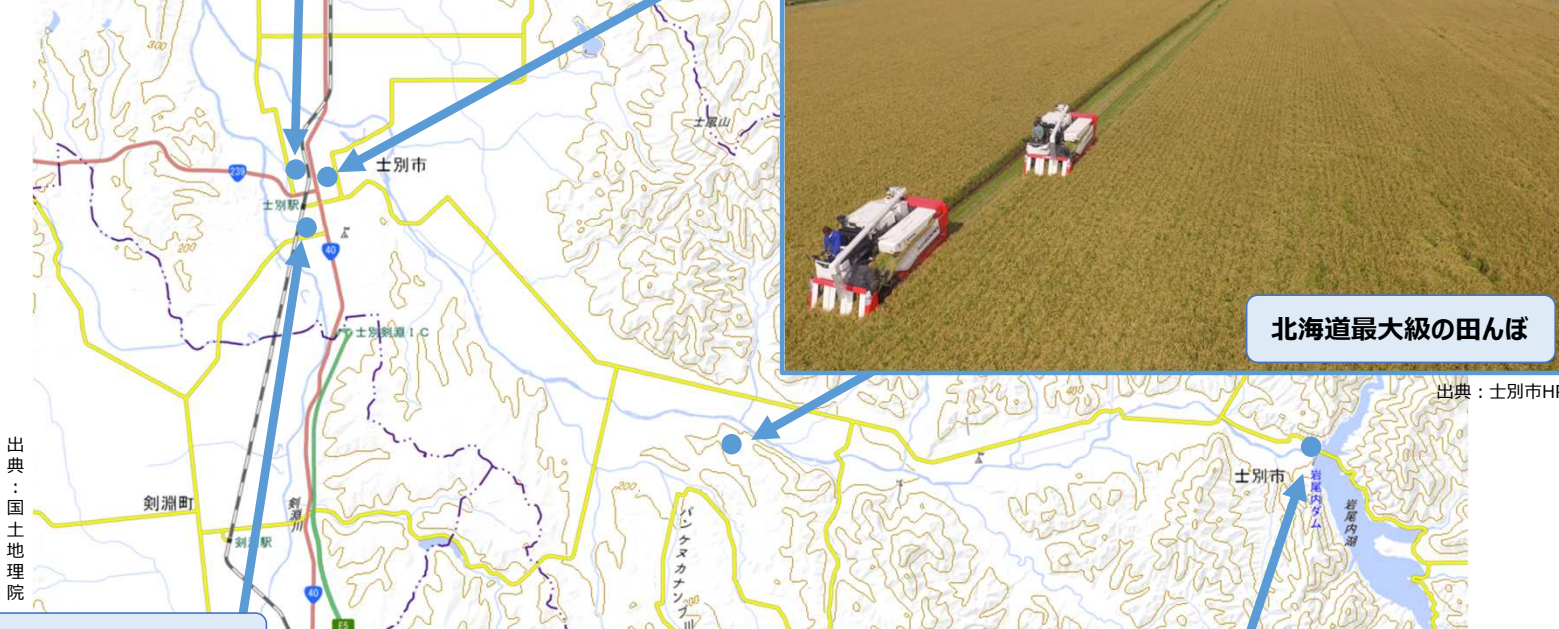


大野家住宅主屋



北海道最大級の田んぼ

出典：士別市HP



出典：国土地理院

士別駅前倉庫群



岩尾内ダム



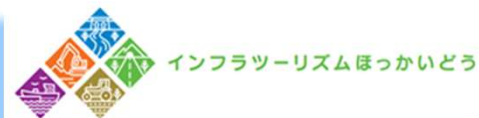
士別サムライブルワリー



出典：旭川開発建設部HP

出典：北海道農政事務所HP、上川総合振興局HP

地域共創インフラツアー（帯広編）
十勝の大地をたどる旅
～人・馬・水がつかないだ開拓の物語～



予約枠 7月下旬～10月・1回

担当 帯広開発建設部

※本ツアーは、企画案を地域と共に創りあげたうえで、催行いただくものとなります。（以下「メニューリスト」のインフラ施設を必ず1つ以上行程へ組み込み願います。その他、以下に記載の連携できそうなメニューをはじめ、グルメや観光スポット等は、各ストーリーに基づき、自由に組み入れていただけます。）

※予約枠の確定後速やかに、開発建設部の担当者と企画のための調整をお願いします。

※その他応募の諸条件は、催行応募要領をご覧ください。

👉 本ツアーのストーリー

日本を代表する「食料供給基地」である十勝。

かつて、果てしない原野と過酷な自然が広がる大地であったこの地は、寒さや風雪、開墾の困難に立ち向かいながら農地を切り開いていった先人達の開拓精神とその先人達を力強く支えた農耕馬の活躍、そして、ダムや堰堤整備をはじめとする治水対策とかんがい排水事業により洪水被害の軽減と安定した水資源の確保の実現のため、長年に渡り築きあげられてきたインフラ整備により、現在までに目覚ましい発展を遂げてきました。

本ツアーでは、先人達が築き上げてきた十勝開拓の歴史を知るとともに、馬文化の普及や新たな地域振興の場としてのインフラ設備の活用など、“十勝の今”についても学ぶことができます。



メニューリスト

◆インフラ施設一覧

- ① 美生ダム
- ② 芽室川西地区（国営かんがい排水事業）
- ③ 札内川第1号砂防堰堤
- ④ 札内川ダム
- ⑤ 十勝ダム

◇連携できそうなメニュー一覧

十勝川インフォメーションセンターの見学、道の駅なかさつない、道の駅おとふけでの買い物、資料館等の見学、帯広市内での農業収穫体験、カーリング体験、除雪・防災ステーションの見学

○見学可能な施設



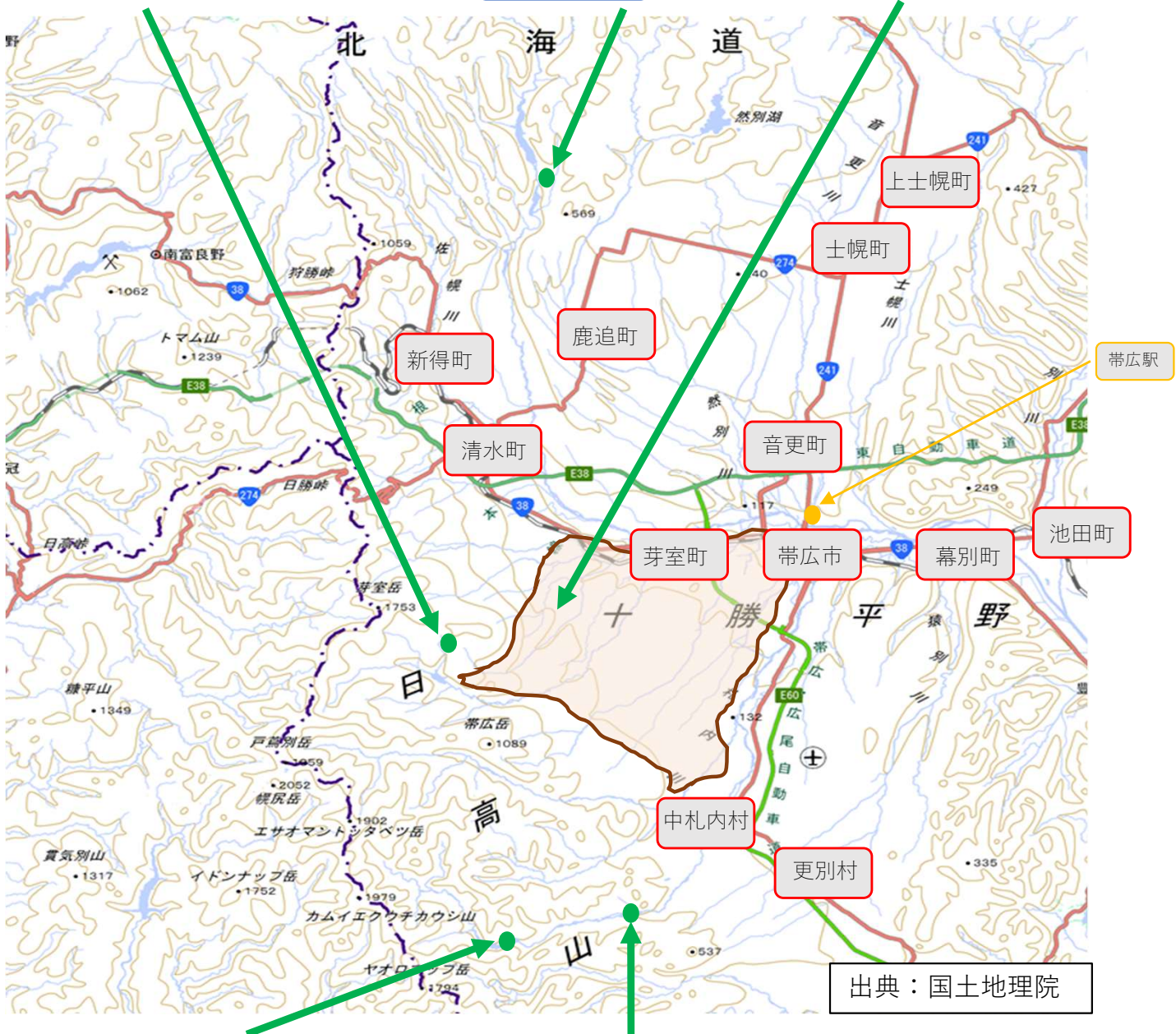
美生ダム



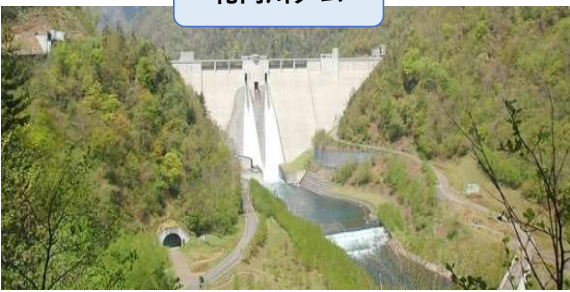
十勝ダム



芽室川西地区



出典：国土地理院



札内川ダム



札内川第1号砂防堰堤